

保存用

# RFIDカード認証式リーダ

## 取扱説明書

このたびは当社製品をご購入いただきまことにありがとうございます。

- 製品を安全に正しくお使いいただくため、ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。
- 本製品を譲渡、または貸し出しされる場合は、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

# 目次

---

	ページ
1. 製品概要	1
2. 製品特長	1
3. 安全上のご注意	2
4. リーダ各部の名称	3, 4
5. 導入準備	5
(初めて使用する場合は安全上のご注意とこちらをお読みください)	
6. 基本操作	5
7. マスターカード、ユーザーカードについて	6
8. 各設定モード	6, 7
9. ユーザーカードの登録と削除	8, 9
10. マスターカードの登録と削除	10, 11
11. 時刻の設定	12
12. 履歴管理	13~17
13. カード登録情報のバックアップとリカバリー	17, 18
14. 緊急時の対応	18
15. 電池交換の警告	19
16. 取り扱い上のご注意	20
17. JAISA表示について	20
18. 仕様	21
19. 電波法に基づく型式指定について	21
20. お問い合わせ	21

## 1. 製品概要

RFIDカード認証式リーダーです。

専用カードを登録でき、そのカードで書庫等の扉の解錠操作ができます。

使用后、扉を閉めると自動施錠されます。

利用履歴を確認することもできます。

## 2. 製品特長

- ◆ F e l i C aカードによるRFIDカード認証
- ◆ 電源は、単三アルカリ電池 4本対応
- ◆ 登録されたマスターカード、ユーザーカードにより、書庫等の扉の解錠が可能
  - ※マスターカード10枚、ユーザーカード99枚が登録可能
  - ※マスターカード保持者は、カード登録や履歴等の確認が可能
- ◆ 認証操作で解錠しても、扉を開けなければ5秒後に自動施錠
- ◆ 扉を開放したままの場合、30秒後に警報ブザーにてお知らせ
- ◆ 時計機能を有し、書庫等の扉の開閉、カードの登録などの利用履歴をminiSDへの書き出しにより管理が可能（履歴管理 最大5000件）
- ◆ 電池寿命警報機能付（電池切れの際は、非常解錠用キーにて解錠対応）

---

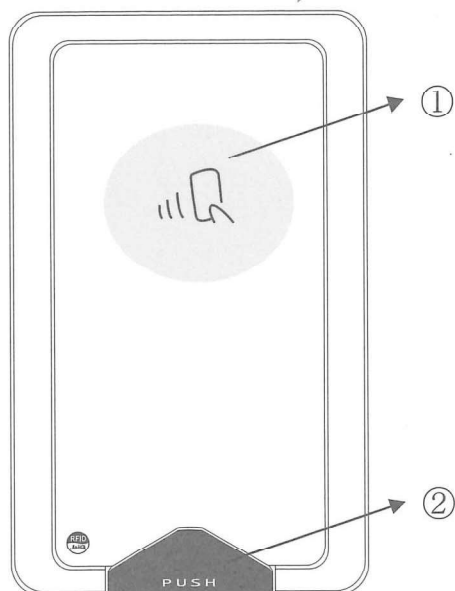
※FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

### 3. 安全上のご注意

- 貴重品の保管には使用しないでください。  
本製品は耐火、耐工具破壊仕様ではありませんので、簡易的な保管を目的に使用してください。  
破壊行為や盗難などに対して弊社では責任を負いかねます。
- 水をかけたり、ぬらしたりしないでください。  
故障の原因になります。
- 分解、改造しないでください。  
ケガ、故障の原因になります。
- 乾電池は極性表示（＋、－）に従い、正しく入れてください。  
乾電池の向きを間違えると、乾電池の破壊、液漏れによる故障、周囲を汚損する原因となります。
- リーダが配置された扉にマグネットを取り付けしないでください。  
誤作動や、故障の原因になる場合があります。
- 精密電子機器を近づけないでください。  
精密電子機器等をリーダに近づけますと、それらの機器の誤作動や、故障の原因になる場合があります。  
故障、破損について弊社では責任を負いかねます。
- 本体を強く押さないでください。  
内蔵されている機器に悪影響を与える可能性がありますので、リーダ本体を強く押さないでください。  
誤作動や故障、部品が破損する場合があります。
- 書庫等の扉は確実に閉め、自動施錠されていることを確認してからその場を離れてください。  
扉の上部（又は下部）部分のみを押して閉めると、きちんと閉まらない場合があります。  
その場合は再度、解錠操作をおこない、扉を閉めなおしてください。
- 「非常解錠用キー」は書庫等の扉の内部以外の場所に大切に保管してください  
付属されている「非常解錠用キー」は、非常の場合に必要となります。  
書庫等の扉の内部に保管されると、その際に使用できませんので注意してください。  
緊急時等に書庫等の扉が開けられない等について弊社では責任を負いかねます。  
※非常解錠用キーの受け側には、セキュリティ上、カギ番号を刻印しておりません。  
カギを紛失した場合に、合鍵を作ることが出来なくなりますので、  
必ず、キーに刻印されているカギ番号を控えていただきますようお願い致します。

## 4. リーダ各部の名称

<扉表：認証ユニット>



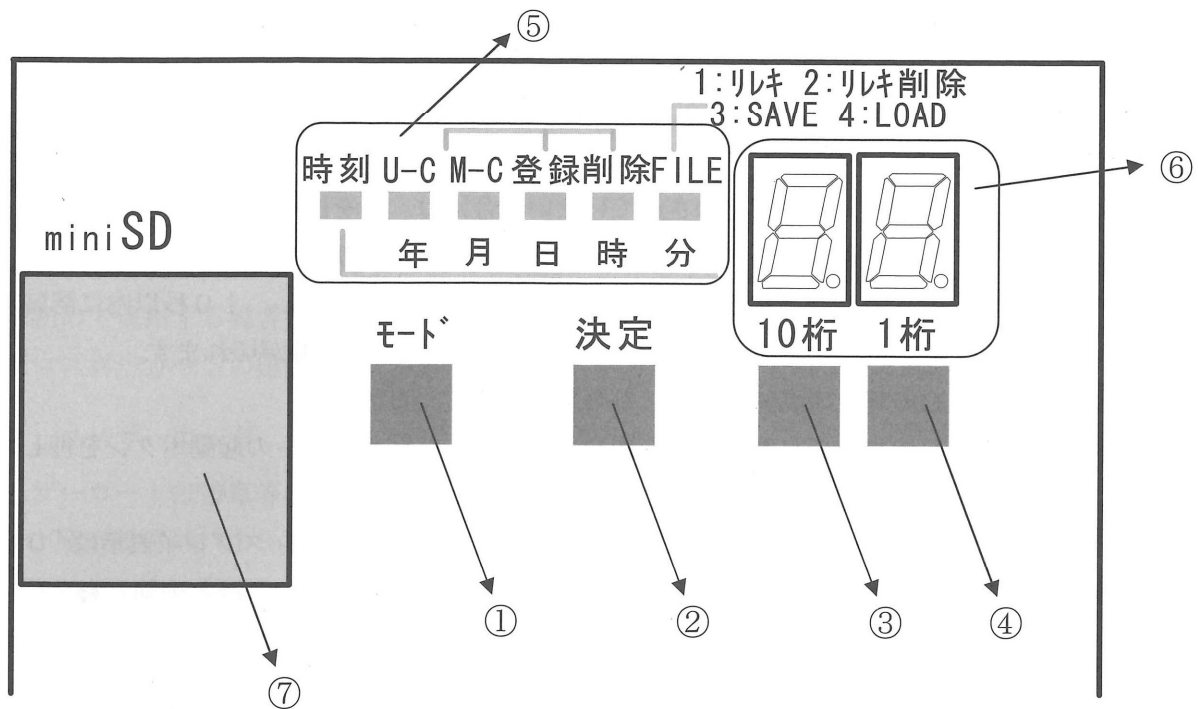
- ① カード認証部（以下、認証部と表記します）

カードをかざします。

- ② 起動ボタン

「PUSH」ボタンを押すことにより、本体の電源が入ります。

<扉裏：操作基板> ※扉裏のカバーをはずすと下図のような基板があります。



①モードキー

時刻設定、ユーザーカードの登録と削除、マスターカードの登録と削除、履歴操作、カードの登録データ、操作の設定モードの切り換えをおこないます。

②決定キー

設定モードの確定、設定データの確定をおこないます。

③10桁キー

設定データ入力時に、10の位を入力します。

④1桁キー

設定データ入力時に、1の位を入力します。

⑤設定モード（時刻、U-C、M-C、登録、削除、FILE）のLED点灯表示部

単独又は、複数の点灯により、現在の設定モードを表示します。

⑥7セグ液晶ディスプレイ 2桁

FILEのLED部の点灯時には操作ファイルの種類を表示し、他の時には入力データを表示します。

⑦miniSDソケット

本体メモリとパソコンとのデータの受け渡しをおこなう際に使用する miniSD用のソケットです。

取り外す際は、miniSDカードを軽く押し込んだ後、指を離します。miniSDカードが少し飛び出てきますので、ゆっくりと、まっすぐ引き抜いてください。

## 5. 導入準備 (初めて使用する場合はこちらをお読みください)

### 5. 1. 電池をセットする

扉を開け、扉裏側の電池ケースのフタを外し、極性表示 (+、-) に従いセットしてください。

### 5. 2. 初期マスターカードの登録

製品納入時 (マスターカードが登録されていない場合) は、扉を開いた状態で、認証ユニットの起動ボタンを押すと、自動的にマスターカードの登録モードになります。

マスターカードの登録が完了するまで、それ以外の操作はできません。10秒以内に認証部に登録したいマスターカードをかざすと、“ピー”と鳴り、登録完了し電源が切れます。

※認証部LEDの青色の点滅が消えてから扉を閉めてください。

※認証部LEDの青色の点滅中に扉を閉めた場合は、認証ユニットの起動ボタンを押して施錠してください。

※初期のマスターカード管理番号は「100」です。7セグ液晶ディスプレイ表示は「00」です。

※マスターカードの追加登録については「10. マスターカードの登録と削除」を参照ください。

## 6. 基本操作

### 6. 1. 解錠

- ① 認証ユニットの起動ボタンを押します。
- ② 認証部のLEDが青く点滅します。
- ③ 10秒以内に登録してあるカードを認証部にかざします。
- ④ 認証すると“ピッ”と音が鳴ります。
- ⑤ 解錠します。
- ⑥ 取手を引いて扉を開けます。

※解錠操作をしてから、扉を開けないで5秒経過すると自動的に施錠されます。

※登録されていないカードで操作した場合は、認証部が赤色点灯しながら“ピピピ”とエラー音が鳴り、電源が切れます。

### 6. 2. 施錠

- ① 扉を閉めます。
- ② “ピッ”と音が鳴り、自動的に施錠されます。

※扉を開けたまま30秒放置すると、認証部が赤色点灯しながら、ピピピピピとエラー音が鳴ります。エラー音が鳴った後でも、扉を閉めると、自動的に施錠されます。

## 7. マスターカード、ユーザーカードについて

### 7. 1. マスターカード

マスターカードは書庫等の扉の解錠に加え、マスターカードやユーザーカードの登録や削除、時刻設定、利用履歴の確認等の各種設定をおこなうことができ、最大10枚登録可能です。

カード管理番号は「100-109」ですが、7セグ液晶ディスプレイには「00-09」と表示されます。

※カード紛失の際のカード情報削除等で必要となりますので、登録された管理番号をお控えください。

※初めて使用する場合は初期マスターカードの登録が必要です。「5. 導入準備」をご参照ください。

※マスターカードの追加登録・削除は「10. マスターカードの登録と削除」をご参照ください。

### 7. 2. ユーザーカード

ユーザーカードは書庫等の扉の解錠をおこなうことができ、最大99枚登録可能です。

カード管理番号は「1-99」の番号で、7セグ液晶ディスプレイに表示されます。

※カード紛失の際のカード情報削除等で必要となりますので、登録された管理番号をお控えください。

※ユーザーカードの登録・削除は「9. ユーザーカードの登録と削除」をご参照ください。

## 8. 各設定モード

カードの登録・削除、履歴情報の受け渡し操作などの際は、設定モード状態で操作します。

### 8. 1. 設定モードにする

設定モードにするには、方法が2つあります。

方法1. マスターカードで認証して扉を開き、30秒以内に扉裏面操作基板の **モードキー** を押すことで、扉裏面操作基板の「設定モードLED点灯表示部」が点灯し、設定モードになります。

方法2. マスターカード、もしくはユーザーカードで認証して扉を開き、30秒放置後、認証部が赤色点灯しながら、ピピピピピとエラー音が鳴り、電源が切れます。

電源が切れた後、認証ユニットの起動ボタンを押して起動させた状態で、認証部にマスターカードをかざすと、扉裏面操作基板の「設定モードLED点灯表示部」が点灯し、設定モードになります。

※「設定モードLED点灯表示部」とは、「4. リーダ各部の名称 <扉裏：操作基板>」の⑤の部分を示しています。

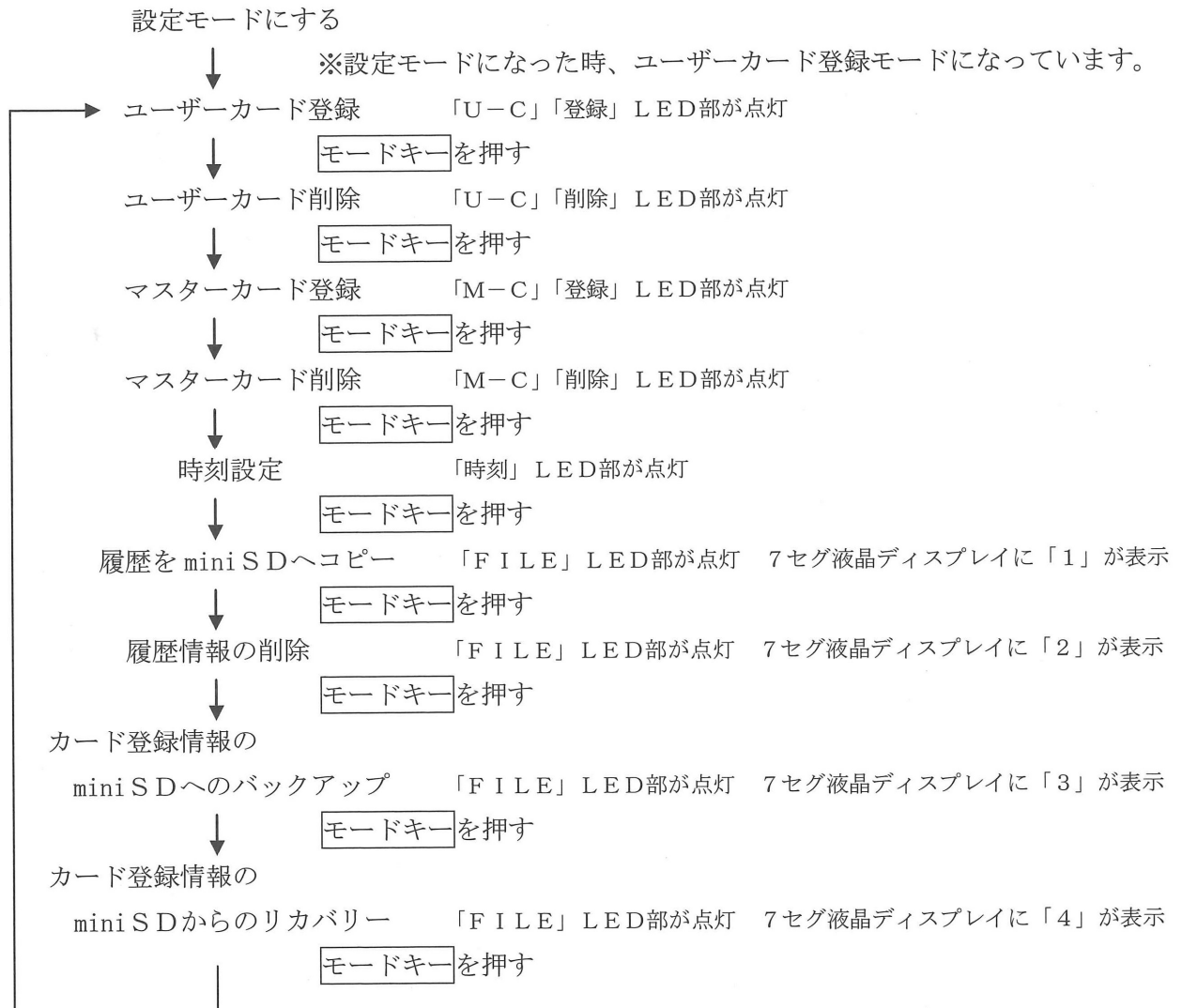


## 8. 2. 設定モードのメニュー切り替え方法

設定モードになった時、ユーザーカード登録モードになっています。

設定モードは、扉裏面操作基板の **モードキー** を押す毎に、下図の順で表示され、設定したいモードを切り替えられます。

設定したいモードで、扉裏面操作基板の **決定キー** を押すことによりモードを決定し、設定をおこなうことができます。



※ **モードキー** を 9 回押すとユーザーカード登録モードに戻ります。

## 9. ユーザーカードの登録と削除

### 9. 1. ユーザーカードの登録

①設定モードにする（詳しくは、「8. 1. 設定モードにする」をご参照ください。）

方法1. マスターカードで認証して扉を開き、30秒以内に **モードキー** を押します。

方法2. マスターカード、もしくはユーザーカードで認証して扉を開き、30秒放置後電源が切れてから、認証ユニットの起動ボタンを押して起動させ、認証部にマスターカードをかざします。

### ②ユーザーカード登録モード

#### ②-1. モード選択と決定

「U-C」と「登録」の点灯を確認後、**決定キー** を押すと“ピッ”と鳴り、ユーザーカード登録モードになります。

もしくは点灯後5秒を経過すると、自動的にユーザーカード登録モードになります。

#### ②-2. ユーザーカード登録

10秒以内に認証部に、ユーザーカードとして登録したいF e l i C aカードをかざすと、“ピッ”と鳴り、登録が完了します。

続けて別のF e l i C aカードをかざすことで、連続登録が可能です。

登録した際には、7セグ液晶ディスプレイに管理番号1～99が表示されます。

※ユーザーカードは最大99枚登録可能です。カード紛失の際のカード情報削除等で必要となりますので、登録された管理番号をお控えください。

※登録後は、認証部LEDの青い点滅が消え、設定モードが終了したことを確認してから、扉を閉めてください。

※認証部LED青色点滅中に扉を閉めた場合は、自動施錠されません。

認証ユニットの起動ボタンを押して、自動施錠させてください。

※登録時に7セグ液晶ディスプレイに管理番号1～99が表示されます。

カード紛失の際のカード情報削除等で必要となりますので、登録された管理番号をお控えください。

※登録番号は空いている番号のうち、若い順で自動的に割り当てられます。

管理番号の指定はできません。

※登録の空きが無くなった場合は、認証部が赤色点灯しながら“ピピピ”とエラー音が鳴り、電源が切れます。

※登録済みカードは重複登録できません。誤ってかざした場合は、認証部が赤色点灯しながら“ピピピ”とエラー音が鳴り、電源が切れます。

※10秒間操作しない状態が続くと、設定モードが終了し、電源が切れます。

電源が切れた後、扉を閉じると自動的に施錠されます。

## 9. 2. ユーザーカードの削除

①設定モードにする（詳しくは、「8. 1. 設定モードにする」をご参照ください。）

方法1. マスターカードで認証して扉を開き、30秒以内に **モードキー** を押します。

方法2. マスターカード、もしくはユーザーカードで認証して扉を開き、30秒放置後電源が切れてから、認証ユニットの起動ボタンを押して起動させ、認証部にマスターカードをかざします。

②ユーザーカード削除モード

②-1. モード選択と決定

**モードキー** を1回押して、「U-C」と「削除」の点灯を確認後、**決定キー** を押すと“ピッ”と鳴り、ユーザーカード削除モードになります。

②-2. ユーザーカード削除モード

・カードがある場合

10秒以内に認証部に削除したいユーザーカードをかざすと、“ピッ”と鳴り、削除完了し電源が切れます。削除時に7セグ液晶ディスプレイに管理番号1～99が表示されます。

※登録されていないカードをかざした場合は、認証部が赤色点灯しながら“ピピピ”とエラー音が鳴り、電源が切れます。

※10秒間操作しない状態が続くと、設定モードが終了し、電源が切れます。

電源が切れた後、扉を閉じると、自動的に施錠されます。

・カードがない場合

10秒以内に管理番号を入力して削除をおこないます。

**10桁キー** と **1桁キー** で番号を入力し、**決定キー** を押します。

“ピー”と鳴り、削除完了し電源が切れます。

※10秒間操作しない状態が続くと、設定モードが終了し、電源が切れます。

電源が切れた後、扉を閉じると、自動的に施錠されます。

・全てのユーザーカードを削除したい場合

10秒以内に**10桁キー** を無表示になるまで押し、**1桁キー** を番号「0」となっていることを確認し、**決定キー** を押します。“ピー”と鳴って削除が完了し、電源が切れます。

※**1桁キー**が、番号「0」となっていない場合は、番号「0」の表示になるまで**1桁キー** を押してから、**決定キー** を押してください。

※10秒間操作しない状態が続くと、設定モードが終了し、電源が切れます。

電源が切れた後、扉を閉じると、自動的に施錠されます。

## 10. マスターカードの登録と削除

### 10. 1. マスターカードの登録

①設定モードにする（詳しくは、「8. 1. 設定モードにする」をご参照ください。）

方法1. マスターカードで認証して扉を開き、30秒以内に **モードキー** を押します。

方法2. マスターカード、もしくはユーザーカードで認証して扉を開き、30秒放置後電源が切れてから、認証ユニットの起動ボタンを押して起動させ、認証部にマスターカードをかざします。

### ②マスターカード登録モード

#### ②-1. モード選択と決定

**モードキー** を2回押して、「M-C」と「登録」の点灯を確認後、**決定キー** を押すと、“ピッ”と鳴り、マスターカード登録モードになります。

#### ②-2. マスターカード登録

10秒以内に認証部に、マスターカードとして登録したいFelicaカードをかざすと、“ピッ”と鳴り、登録が完了します。

続けて別のFelicaカードをかざすことで、連続登録が可能です。

登録した際には、7セグ液晶ディスプレイに管理番号00～09が表示されます。

※マスターカードは最大10枚登録可能です。カード管理番号は、「100-109」ですが、登録時に7セグ液晶ディスプレイには「00-09」と表示されます。カード紛失の際のカード情報削除等で必要となりますので、登録された管理番号をお控えください。

※管理番号は空いている番号のうち、若い順で自動的に割り当てられます。管理番号の指定はできません。

※登録の空きが無くなった場合は、認証部が赤色点灯しながら“ピピピ”とエラー音が鳴り、電源が切れます。

※登録済みカードと重複した場合は、認証部が赤色点灯しながら“ピピピ”とエラー音が鳴り、電源が切れます

※10秒間操作しない状態が続くと、設定モードが終了し、電源が切れます。

電源が切れた後、扉を閉じると、自動的に施錠されます。

※認証部LEDの青色の点滅が消えてから扉を閉めてください。

※認証部LED青色点滅中に扉を閉めた場合は、認証ユニットの起動ボタンを押して施錠してください。

## 10. 2. マスターカードの削除

①設定モードにする（詳しくは、「8. 1. 設定モードにする」をご参照ください。）

方法1. マスターカードで認証して扉を開き、30秒以内に **モードキー** を押します。

方法2. マスターカード、もしくはユーザーカードで認証して扉を開き、30秒放置後電源が切れたから、認証ユニットの起動ボタンを押して起動させ、認証部にマスターカードをかざします。

### ②マスターカード削除モード

#### ②-1. モード選択と決定

**モードキー** を3回押して、「M-C」と「削除」の点灯を確認後、**決定キー** を押すと“ピッ”と鳴り、マスターカード削除モードになります。

#### ②-2. マスターカード削除

##### ・カードがある場合

10秒以内に認証部に削除したいマスターカードをかざすと“ピッ”と鳴り、削除完了し、電源が切れます。削除時に7セグ液晶ディスプレイには00～09が表示されます。

※マスターカードの管理番号は、「100-109」ですが、7セグ液晶ディスプレイには「00-09」と表示されます。

##### ・カードがない場合

10秒以内に管理番号を入力して削除をおこないます。

**10桁キー** と **1桁キー** で削除したい管理番号を入力し、**決定キー** を押します。削除が正常に完了すると、“ピー”と鳴り、電源が切れます。

※マスターカードの管理番号は、「100-109」ですが、液晶ディスプレイには「00-09」を入力します。

※登録されていないカードで操作した場合は、認証部が赤色点灯しながら“ピピピ”とエラー音が鳴り、電源が切れます。

※10秒間操作しない状態が続くと、設定モードが終了し、電源が切れます。

電源が切れた後、扉を閉じると、自動的に施錠されます。

# 1 1. 時刻の設定

## 1 1. 1. 時刻設定モード

①設定モードにする（詳しくは、「8. 1. 設定モードにする」をご参照ください。）

方法1. マスターカードで認証して扉を開き、30秒以内に **モードキー** を押します。

方法2. マスターカード、もしくはユーザーカードで認証して扉を開き、30秒放置後電源が切れてから、認証ユニットの起動ボタンを押して起動させ、認証部にマスターカードをかざします。

②時刻設定モードの選択と決定

**モードキー** を4回押して、「時刻」の点灯を確認後、**決定キー** を押すと“ピッ”と鳴り、時刻設定モードになります。

②-1. 西暦入力

**決定キー** を押すと“ピッ”と鳴り、西暦入力になります（時計と年の両方が点灯）

**10桁キー** と **1桁キー** で西暦の下2桁を入力し、**決定キー** を押し、月入力に進みます。

②-2. 月入力（時計と月の両方が点灯）

**10桁キー** と **1桁キー** で月を入力し、**決定キー** を押し、日入力に進みます。

②-3. 日入力（時計と日の両方が点灯）

**10桁キー** と **1桁キー** で日を入力し、**決定キー** を押し、時入力に進みます。

②-4. 時入力（時計と時の両方が点灯）

**10桁キー** と **1桁キー** で時を入力し、**決定キー** を押し、分入力に進みます。

②-5. 分入力（時計と分の両方が点灯）

**10桁キー** と **1桁キー** で分を入力し、**決定キー** を押します。

決定キーを押した際に、秒データが「00」になります。

時刻設定が正常に完了すると、“ピー”と鳴り、入力終了となります。

※10秒間操作しない状態が続くと、設定モードが終了し、電源が切れます。

電源が切れた後、扉を閉じると、自動的に施錠されます。

## 12. 履歴管理

書庫等の扉の施錠、解錠、カード登録や削除等の操作履歴を本体内部のメモリに記録します。記録可能な履歴は、最大5000件です。(施錠、解錠それぞれ1件と計算しますので、施解錠をおこなった場合は、2件となります。) 本体内部に記録された履歴を付属のminiSDにコピーし、PCに接続されたカードリーダー等を利用して、PCに取り込み、閲覧や管理ができます。  
※miniSDからPCへのデータ取り込みに必要なカードリーダー等は、別途ご用意願います。

### 12.1. 本体メモリの履歴をminiSDへコピー

①設定モードにする(詳しくは、「8.1. 設定モードにする」をご参照ください。)

方法1. マスターカードで認証して扉を開き、30秒以内に **モードキー** を押します。

方法2. マスターカード、もしくはユーザーカードで認証して扉を開き、30秒放置後電源が切れてから、認証ユニットの起動ボタンを押して起動させ、認証部にマスターカードをかざします。

②miniSDが挿入されていることを確認する

③miniSDコピーモードの選択と決定

**モードキー** を5回押して、「FILE」の点灯および液晶ディスプレイに「1」が表示されたことを確認した後、**決定キー** を押すと“ピッ”と鳴り、miniSDに履歴がコピーされます。コピーが正常に完了すると、“ピー”と鳴り、電源が切れます。

※使用時にminiSDが挿入されていても、自動的に「miniSD」に履歴は書き込まれません。  
本体メモリからコピーする必要がありますのでご注意ください。

※履歴データは、コピーのみで、本体メモリ内のデータは、影響されません。

(履歴コピー実行の履歴が追加されます)

※miniSDが入っていない場合や、書き込みエラー等の不具合がある場合は、認証部が赤色点灯しながら、“ピピピ”とエラー音が鳴り、電源が切れます。

### 12.2. 履歴閲覧

miniSDにテキストデータとしてコピーされ、**Microsoft Excel** やメモ帳、専用履歴管理ソフトウェアで閲覧および管理ができます。

専用履歴管理ソフトウェアは弊社ホームページからダウンロードできます。

履歴の詳細は「12.3. 履歴の詳細」～「12.4. 表示番号表」をご参照ください。

【弊社ホームページ】<http://www.lion-jimuki.co.jp>

※Microsoft Excelは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

### 12.3. 履歴の詳細

#### ①ファイル名

〇〇□□△△. his (数字6桁 + 拡張子his) で表示されます。

〇〇：西暦下2桁、□□：月表示(01~12)、△△：日表示(01~31)

※同一名のファイルは上書きされます。

#### ②フォーマット

以下のデータがカンマで区切られたテキストデータとして出力されます。

古い順に表示され、1操作を1行で表示します。

専用履歴管理ソフトウェアを使用した場合は、一覧表で閲覧できます。

ア	イ	ウ	エ	オ
イベント番号	認証カード 番号	検出時刻	削除登録 カード番号	カード ID
1[扉開]	50	2008/06/23 08:25:00	0	0

ア. 表示番号 記録された操作内容の識別 (「12.4.表示番号表」をご参照ください)

イ. 認証したカードの管理番号 (マスターカードは 1□□ と表示されます)

ユーザーカード 1~99、マスターカード 100~109 認証カードなしの時は0

ウ. 時刻情報 発生した時刻 西暦/月/日 時:分:秒 (例) 2008/11/27 12:00:00

エ. 登録あるいは抹消されたカードの管理番号 (マスターカードは 1□□ と表示されます)

ユーザーカード 1~99、マスターカード 100~109 登録抹消以外は0

オ. 登録あるいは抹消されたカードのID (16進表記)

1バイトを00~FFで表記し、ID8バイトは、16文字で表記

上位バイトから下位バイトの順 例: 0114B303040CCB24

※エ、オについては表示番号20~24のみ表示されます。

※表示番号20~24は、3件分のメモリ履歴容量が必要です。



③履歴表示例

例1) 認証カード番号50のユーザーカードで、2008年6月23日8時25分00秒に  
開扉をおこなった。

[テキストデータの場合]

1, 50, 2008/06/23 08:25:00, 0, 0

[専用履歴管理ソフトウェアの場合]

イベント番号	認証カード 番号	検出時刻	削除登録 カード番号	カード IDM
1[扉開]	50	2008/06/23 08:25:00	0	0

例2) 認証カード番号101のマスターカードで、2008年6月24日12時56分10秒に  
カードID: 0114B303040CC24のカードをカード番号51として登録をおこなった。

[テキストデータの場合]

21, 101, 2008/06/24 12:56:10, 51, 0114B303040CC24

[専用履歴管理ソフトウェアの場合]

イベント番号	認証カード 番号	検出時刻	削除登録 カード番号	カード IDM
21[ユーザーカード登録]	101	2008/06/24 12:56:10	51	0114B303040CC24

例3) 認証カードで認証せず、非常解錠用キーで、2010年2月9日13時9分11秒に  
開扉をおこなった。

[テキストデータの場合]

12, 0, 2010/02/09 13:09:11, 0, 0

[専用履歴管理ソフトウェアの場合]

イベント番号	認証カード 番号	検出時刻	削除登録 カード番号	カード IDM
12[扉破壊または鍵にて扉開]	0	2010/02/09 13:09:11	0	0

## 12.4. 表示番号表

表示番号	操作内容
1	扉開 : カード認証によって解錠し、扉を開けたとき
2	扉閉 : 扉を閉めて、施錠されたとき ※認証なしで（「非常解錠用キーによる解錠」・「扉破壊」）扉を開いた後に、扉を閉めて自動施錠されたとき、カード番号は 0 と記録される ※扉が開いてから 30 秒経過後に、電源が切れてから扉を閉めたとき、カード番号は 0 と記録される
3	設定モード認証 : 設定モードにされたとき、または扉が開いている（解錠している）状態で起動したとき
4	履歴書き出し : 履歴データを mini SD にコピーしたとき
5	時刻変更発生（更新前の時刻） : 時刻変更をおこなったとき
6	時刻変更（更新時間） : 新しく変更されたとき ※時刻変更をおこなった時には、表示番号 5、6 が同時に発生する
7	登録データのSAVE : カードの登録情報を mini SD にバックアップしたとき
8	登録データのLOAD : SAVE した登録情報を mini SD からリカバリーしたとき
9	履歴情報削除 : メモリ内の履歴情報が削除されたとき ※履歴削除は、全ての履歴情報を削除し、履歴の先頭にこの履歴が残る システム異常により、履歴が削除された場合、カード番号は 0 と記録される
10	ロック機構異常（ロック部エラー） : ロック制御部がエラーとなったとき
11	ロック機構異常（ロックタイムアウト） : ロック制御部がエラーなしで、タイムアウトとなったとき
12	扉破壊または鍵にて扉開 : 施錠状態で、扉が開けられたとき
13	制御部エラー ROM異常 : ROM に異常が発生したとき
14	制御部エラー 時計異常 : メモリ内の時計 IC に異常が発生したとき
15	制御部エラー mini SD 未検出 : mini SD にアクセス時に、mini SD が検出されないとき
16	制御部エラー mini SD 異常 : mini SD に異常が発生したとき
17	制御部エラー その他 : その他、メモリに異常が発生したとき
20	カード認証エラー : 未登録のカードで認証したとき ※カード IDM データは、認証に失敗したカードの IDM が記録される
21	ユーザーカード登録 : ユーザーカードを登録したとき
22	ユーザーカード抹消 : ユーザーカードを削除したとき
23	マスターカード登録 : マスターカードを登録したとき
24	マスターカード抹消 : マスターカードを削除したとき

## 1 2. 5. 本体メモリの履歴情報の削除

①設定モードにする（詳しくは、「8. 1. 設定モードにする」をご参照ください。）

方法1. マスターカードで認証して扉を開き、30秒以内に **モードキー** を押します。

方法2. マスターカード、もしくはユーザーカードで認証して扉を開き、30秒放置後電源が切れてから、認証ユニットの起動ボタンを押して起動させ、認証部にマスターカードをかざします。

②履歴情報削除モードの選択と決定

**モードキー** を6回押して、「FILE」の点灯および液晶ディスプレイに「2」が表示されたことを確認した後、**決定キー** を押すと“ピッ”と鳴り、本体の履歴情報が削除されます。

履歴情報の削除が正常に完了すると、“ピー”と鳴り、電源が切れます。

※操作後は「履歴データ削除」の履歴が最初の履歴として残ります。

## 1 3. カード登録情報のバックアップとリカバリー

### 1 3. 1. ユーザーカードおよびマスターカードの登録情報のバックアップ

①設定モードにする（詳しくは、「8. 1. 設定モードにする」をご参照ください。）

方法1. マスターカードで認証して扉を開き、30秒以内に **モードキー** を押します。

方法2. マスターカード、もしくはユーザーカードで認証して扉を開き、30秒放置後電源が切れてから、認証ユニットの起動ボタンを押して起動させ、認証部にマスターカードをかざします。

②miniSDが挿入されていることを確認

③登録情報バックアップモードの選択と決定

**モードキー** を7回押して、「FILE」の点灯および液晶ディスプレイに「3」が表示されたことを確認した後、**決定キー** を押すと“ピッ”と鳴り、本体メモリに記録されているユーザーカードおよび、マスターカードの登録情報がminiSDにコピーされます。

バックアップが正常に完了すると、“ピー”と鳴り、電源が切れます。

※miniSDが入っていない場合や、書き込みエラー等の不具合がある場合は、認証部が赤色点灯しながら、“ピピピ”とエラー音が鳴り、電源が切れます。

### 1 3. 2. ユーザーカードおよびマスターカードの登録情報のリカバリー

①設定モードにする（詳しくは、「8. 1. 設定モードにする」をご参照ください。）

方法1. マスターカードで認証して扉を開き、30秒以内に **モードキー** を押します。

方法2. マスターカード、もしくはユーザーカードで認証して扉を開き、30秒放置後電源が切れてから、認証ユニットの起動ボタンを押して起動させ、認証部にマスターカードをかざします。

②miniSDが挿入されていることを確認

③登録情報リカバリーモードの選択と決定

**モードキー** を8回押して、「FILE」の点灯および液晶ディスプレイに「4」が表示されたことを確認した後、**決定キー** を押すと“ピッ”と鳴り、miniSDに記録されているユーザーカードおよびマスターカードの登録情報が本体メモリにコピーされます。

リカバリーが正常に完了すると、“ピー”と鳴り、電源が切れます。

※「miniSDが入っていない」、「miniSDにバックアップデータが入っていない」、「書き込みエラー」等の不具合がある場合は、認証部が赤色点灯しながら“ピピピ”とエラー音が鳴り、電源が切れます。

### 1 3. 3. バックアップデータの詳細

miniSDにバックアップされるカードデータのファイル名は「cardid.cid」に固定されます。

常に上書き保存されますのでご注意ください。

また、ファイル名の変更、カードデータの登録・削除・変更はできませんのでご注意ください。

## 1 4. 緊急時の対応

付属の「非常解錠用キー」を使用して解錠ができます。

※非常解錠用キーで解錠した場合、下記の履歴が残ります。

表示番号	操作内容
1 2	扉破壊または、鍵にて扉開 : 施錠状態で、扉が開けられたとき

※非常解錠用キーの受け側には、セキュリティ上、カギ番号を刻印しておりません。

カギを紛失した場合に、合鍵を作ることが出来なくなりますので、

必ず、キーに刻印されているカギ番号を控えていただきますようお願い致します。

## 1 5. 電池交換の警告

電池残量が一定以下になると、以下の3段階で電池交換時期であることをお知らせします。

### 【第1段階】

認証ユニットの起動ボタンを押した時、認証部のLEDが通常の2倍のスピードで青色点滅し、電池交換の時期が近いことを警告します。

※警告を無視して使い続けると、第2段階の警告に切り替わります。

### 【第2段階】

認証ユニットの起動ボタンを押した時、“ピピピ”と警告音が鳴った後に、認証部のLEDが通常の2倍のスピードで青色点滅し、電池交換が必要であることを警告します。

※認証ユニットの起動ボタンを押しても、警告音が鳴っている間（認証部のLEDが青色点滅するまで）は、カードをかざしても認証されず、解錠はできません。

※警告を無視して使い続けると、第3段階の警告に切り替わり、自動施錠されなくなります。

### 【第3段階】

認証ユニットの起動ボタンを押した時、3秒間赤色点灯しながら“ピピピ”と警告音が鳴り、電源が切れます。



**注意** この状態の時には、自動施錠されておらず、常に解錠状態となっています。  
盗難など、発生した付随的損害等について弊社では責任を負いかねます。

※電池の寿命は約2500開閉操作、又は、1年が目安となっておりますが、  
使用メーカー等により、多少の性能誤差が生じますので、ご了承ください。

(Panasonic、東芝、SANYOにて確認済です)

※時計機能については、専用の電池を設置しておりますので、電池交換等の際に再設定は不要です。

※長期間使用されない場合等、電池残量がなくなり、施錠されたままとなる場合があります。

その場合は、付属の「非常解錠用キー」を使用して、書庫等の扉を解錠してください。

また、その際、電池の液漏れなど不具合が発生していないか確認し、不具合が発生している場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店もしくは弊社お客様相談室にご相談ください。

## 16. 取り扱い上のご注意

○複数カードを同時に認証させないでください。

正常な認証ができない、あるいはカードを検出できないなどの状態になることがあります。

○金属体をカードやリーダに近づけないでください。

リーダとF e l i C aカードの通信を妨げ、認証部の読み取りエリアが狭くなったり、認証不能となることがあります。

○複数のリーダを至近距離で設置しないでください。

互いに干渉し、リーダとF e l i C aカードの通信を妨げ、正常な認証ができなくなることがあります。至近距離で設置するときには、上下、左右、前後30cm以上離すようにしてください。

○強い電磁波（特に13.56MHz付近）が発生している場所で使用しないでください。

リーダとF e l i C aカードの通信を妨げ、認証部の読み取りエリアが狭くなったり、認証不能となることがあります。

○残量が少なくなった電池をセットしたまま、長期間放置しないでください。液漏れの原因となる場合があります。また、交換警告の出た電池はすぐに交換してください。

時計機能については、専用の電池を設置していますがあくまで補助的なものです。

尚、本時計機能は、時計（時、分、秒）およびカレンダー（年、月、日、曜日）を有します。

○新しい電池をご使用ください

付属の電池はテスト用です。ご使用される際は新しい電池と交換してください。

## 17. J A I S A表示について



植え込み型医用機器装着者への明示を目的として、認証ユニットの左下位置に、J A I S A表示しております。

J A I S A表示が示す注意内容

①本装置は、一般利用可能なI S M帯域である13.56MHzの電波を利用した通信設備を内蔵しています。

そのため使用する用途・場所によっては、混信が発生することがあります。この混信による影響を少なくするために、導入に際しては相互に事前確認されることをお願いします。

また、電波天文や医療機器等に影響を与えるおそれもあり、このような環境での使用は特に注意してください。

②本装置は、電波を利用しているため人体に影響を与えるおそれがあります。本装置付近に長時間留まらないでください。

③植込み型医用機器装着者は、装着部位を認証部より22cm以内に近づけないでください。

## 18. 仕様

電源	単三アルカリ乾電池 4本 (6V)
使用周囲温度	5～45℃
湿度	30～85%RH (結露しないこと)
使用場所	屋内 (雨や水滴などがかからないこと)
その他環境条件	塵埃がひどくないこと
	自動車やエレベーターなど振動がある場所での使用はしないこと
	有機溶剤、油類のかからない場所で使用すること
	有毒ガス・引火性ガス等のない場所で使用すること
	植込み型医用機器装着者は、装着部位をRFID機器のアンテナ部より22cm以内に近づかないこと

本説明書の注意事項をよくご確認ください。

誤った使用をすると、正常に作動しないことがあり、製品の故障の原因にもなりますのでご注意ください。  
本リーダーの故障、誤作動または不具合等により、記録された内容に発生した付随的損害について、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 19. 電波法に基づく型式指定について

本リーダーは、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。

使用周波数は、13.56MHz帯です。

本リーダーを分解、改造したり、操作基板の型式番号を消すと、法律により罰せられることがあります。

本リーダーの周囲で、複数の非接触ICカードリーダー・ライターをご使用の場合は、上下・左右・前後30cm以上、間隔をあけてご使用ください。

また、他の同一の周波数帯を使用の無線機器が近くにないことを確認してからご使用ください。

## 20. お問い合わせ

修理・その他ご不明な点についてはお買い求めの販売店もしくは下記「お客様相談室」へご連絡ください。